

ボローニャ大学への協定留学(交換留学) 月例報告書(6月分)

文化政策学部 国際文化学科 4 年

【はじめに】

こんにちは！日本でも報道されていたみたいですが、熱波がヨーロッパを直撃し、猛暑の中で6月を過ごしました。セミの鳴き声が目覚まし時計代わりになっていて、夏を感じます。ありがたいことに私の住む家にはエアコンが付いているので比較的快適に過ごしています。ボローニャで留学を考えていらっしゃる方は、エアコン付きの物件を探してみるのをおすすめします。

【リミニ】

6月初めにリミニに行ってきました。リミニはボローニャから地域列車で1時間半ほどの場所にある海沿いの街です。その日は風が強かったのですが、多くの人が海水浴をしたり浜辺で日焼けを楽しんだりしていて、さすがバカンスの国だなと思いました。街は落ち着いていて、海辺を歩くだけでもリフレッシュできました。また、Museo della Città Luigi Tonini にも行ってきました。その博物館では、リミニの歴史について学ぶことができ、海辺のリゾート地というイメージとは違った一面を見ることができました。

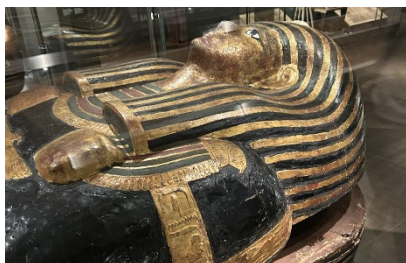


【アオスタ・トリノ】

2月ぶりに、また友人を訪ねてトリノに行ってきました。2日間滞在し、初日はトリノからアオスタまでFlixbusという高速バスを利用しました。初めてこのバスを利用してみましたが、思った以上に快適で、しかも手頃な価格で移動することができました。このバスでヨーロッパのほかの国に行けたりするので、いつか挑戦してみたいと思います。

トリノからバスに揺られること1時間半、アオスタに到着しました。標高が高いため、ひんやりして避暑地みたいな感じかなと思っていましたが、実際はそうではなく、大汗を流しながら街歩きをしました。なんだかスイスのような雰囲気、山と雲が近くのんびりと時間が過ぎていくような、そんな街でした。特に印象に残った景色は、ロープウェイから望む山々です。ボローニャはイタリアの中でも都会で、あまり自然に触れる機会がないので、見渡す限りの緑の中でマイナスイオンを感じました。山の上に湧く水もすごくおいしく感じました。ロープウェイから見下ろす山の麓の家もなんだかハイジの世界の建物みたいで可愛かったです。





トリノでは、イタリア人の友人にエジプト博物館をおすすめされたので行ってきました。調べてみたところ、この博物館はエジプト・カイロの博物館に次ぐ規模だそうです。そのため、博物館を回るのに2時間ほどかかりました。ミイラの保存方法の年代別の展示や、ヒエログリフ、エジプトらしい壁画などが展示されており、はるか昔の遠い国に生きた人々の暮らしを垣間見た気がして不思議な気持ちになりました。本当に多くの資料が

展示されており、ロマンあふれる空間なので、ぜひトリノを訪れる際は足を運んでみてください。

最後にトリノで食べた美味しいパスタを紹介します。その名はタヤリンです。ピエモンテ州を代表する伝統的なパスタで、全卵ではなく卵黄と小麦粉のみで作るのが特徴だそうです。私が食べたパスタはTajarin ragù di vitelloです。パスタの食感は蕎麦に近く、ソースがよく絡んで美味しかったです。ビーゴリほどもちもちとした麺ではありませんが、麺一本一本がしっかりしていて食べ応えがありました。

今回も大満足のトリノ旅でした。一緒に回った友人は日本人でトリノの大学に通っています。同じ国の出身なのに、私がイタリアに来なかったら絶対に出会わなかったのだと思うと人の縁の不思議さを感じます。

「日本でも会いたいね！」



【おわりに】

本格的に夏が来て、イタリアの春夏秋冬を一周しました。今でも自分がイタリアにいることに驚きますし、それと同時にこの生活にすっかり慣れた自分に感動しています。しかし、まだまだイタリア語で思ったことを自由に伝えられない悔しさがあります。家にこもるのではなく、歩き回ってたくさんイタリア語に触れていきます。イタリアに滞在できるのは残りわずかなので、やるべきこと、やりたいこと全部叶えて日本に帰国したいです。荷物の整理も少しずつ準備して、余裕を持って行動しようと思います。Arrivederci☆

